

広島神楽定期公演 無観客公演ライブ配信

11/3

火・祝

12:00~

宮崎子ども神楽

14:00~

宮崎神楽団

16:00~

吉和神楽団

18:00~

高井神楽団



12時~

宮崎子ども神楽 『八幡』

はちまん

みやざきこどもかぐら

宮崎子ども神楽プロフィール ~広島市~

子供達に神楽の楽しさを知ってもらおうと結成して今年で22年目になります。
大人同様「神楽らしい神楽」を目標に一生懸命に稽古に励んでいます。

大昔、宇佐八幡のある九州一帯に、空他化自在天(そらのたけじざいてん)という大魔王が襲ってきました。大魔王は昼に千人、夜に千人の民を取って喰う悪の権化です。宇佐八幡の祭神、誉田別命(ほんだわけのみこと)が大魔王を退治すると知り、誉田別命に仕える民の門守り(かどもり)は、お供しようと誉田別命を待ちます。やがて勇ましい鎧を身につけた誉田別命が神聖な力のある弓と矢を持って現れます。

誉田別命と大魔王は互いに向き合い、「私は宇佐八幡の神である」「俺は鬼軍団の大將だ」と力強く名乗りをあげ、いざ立ち合いに。

すさまじい戦いの末に大魔王は退治され、誉田別命は嬉しさを舞であらわします。

門守りも誉田別命の勝利を見届け、喜び拌みながら、めでたく家路につく。という物語です。



14時~

宮崎神楽団 『葛城山』

かつらぎざん

みやざきかぐらだん

宮崎神楽団プロフィール ~広島市~

明治の終わり頃、秋祭りには安芸高田市(旧高田郡)方面から神楽団の方々をお願い、奉納していました。(古老先輩の談)このことに着眼し、大正初期頃、氏子から同好の者を募り、舞いの師事を得て「日進神楽団」として発足しました。戦時下で一時中断しましたが、昭和27年、当時は他の神楽団の衣装を借りての舞でしたが諸先輩が記録誌、用具(小物)を整え「志路神楽団」と改名しました。

その後、昭和34年に地区内外の方々に多大なるご協力を戴き念願の衣装が完成しました。そして、地元の宮崎八幡宮の名前を拝し、「宮崎神楽団」と改名し、現在107年目に至っています。未熟ではございますが、稽古を重ね後継者の育成に邁進してまいります。

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。



16時～

吉和神楽団 『塵倫』

じんりん

よしかぐらだん

吉和神楽団プロフィール ～廿日市市～

昭和54年頃、吉和地域では古くから伝わっていた伝統芸能の神楽を復活させようと地域の有志や若者達が集まり神楽団が結成されました。舞は、六調子系の旧舞による八岐の大蛇・大江山・塵倫・天神・羅生門・安達ヶ原のほか、八調子系の新舞による滝夜叉姫など、数多くの演目を上演しています。そのほか、後継者の育成に取り組み、地域内外の子ども達に神楽を指導して、子ども神楽の出演も行っています。今後も団員一同精進し、伝統芸能を誇りに思う活動を続けたいと思います。

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。

その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。

そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乗(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。



18時～

高井神楽団 『紅葉狩』

もみじがり

たかいかがらだん

高井神楽団プロフィール ～広島市～

高井神楽団は佐伯区八幡三丁目に鎮座する八幡神社を拠点に活動しています。神楽団の歴史は古く、百数十年の伝統がありますが、一時期活動を休止していた時期がありました。時代は平成に変わり、神楽復活を願う神社関係者、また地域の方々の声に押され、平成9年に活動を再開し、現在に至っています。

近年は中国地方各地の神社への奉納、各種イベント、各地の競演(共演)大会、海外で公演するなど活動の場を広げています。これからも応援して下さる神楽ファンの方々や観客の皆様に喜んでいただける神楽団を目指し、舞方、奏楽、裏方一丸となり一生懸命演じてまいります。

時の武将 平維茂とその一行は、信州戸隠山に向かいます。

秋の戸隠山のあまりの美しさに紅葉狩を楽しむ維茂一行は、道に迷ってしまいます。

一行が一軒の館に差し掛かると、美しい女性たちが紅葉狩の宴を開いているのに出会います。

実はこの女性たちは、平維茂に恨みを抱き命を狙っていたのです。

維茂は不審に思いながら道を尋ね、通り過ぎようとするのですが、女性たちは言葉巧みに宴に加わるよう勧めます。

宴に加わった維茂一行は勧められるままに杯を重ねるうちに鬼女の妖術に掛かり倒れてしまいました。

すると夢の中に八幡大菩薩が現れ、維茂を救い、神剣を授けます。

我に返った維茂一行は、鬼女に闘いを挑み、退治するという物語です。

今後の予定

11/28 土	12:00～ 亀山子ども神楽団	14:00～ 亀山神楽団	16:00～ 茂田神楽団	18:00～ 大森神楽団
---------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------

12/5 土	12:00～ 有田子ども神楽団	14:00～ 有田神楽団	16:00～ 郡山子ども神楽団	18:00～ 吉田神楽団
--------	--------------------	-----------------	--------------------	-----------------

12/6 日	10:00～ 飯室神楽団	12:00～ 穴笠神楽団	14:00～ 鈴張神楽団	16:00～ 下五原神楽団	18:00～ 宮乃木神楽団
--------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------

12/19 土	12:00～ あおぞら子ども神楽団	14:00～ 上中調子神楽団	16:00～ 松原神楽団	18:00～ 琴庄神楽団
---------	----------------------	-------------------	-----------------	-----------------